

中大規模木造建築  
ZEBシリーズ

日本生命保険相互会社  
木造営業拠点の建築



Concept 国産木材を活かす建築

群馬県産の杉板を外観やエントランスまわりに使用し、木のあたたかみを感じられるデザインとしました。地域産材の積極的な活用や、木造建築の普及に向けた継続的な取り組みが評価され、「木材利用推進コンクール」にて林野庁長官賞を受賞しました。

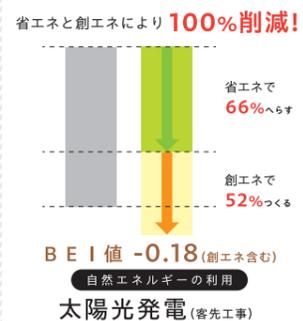


Data (群馬富岡オフィス:「ZEB」)

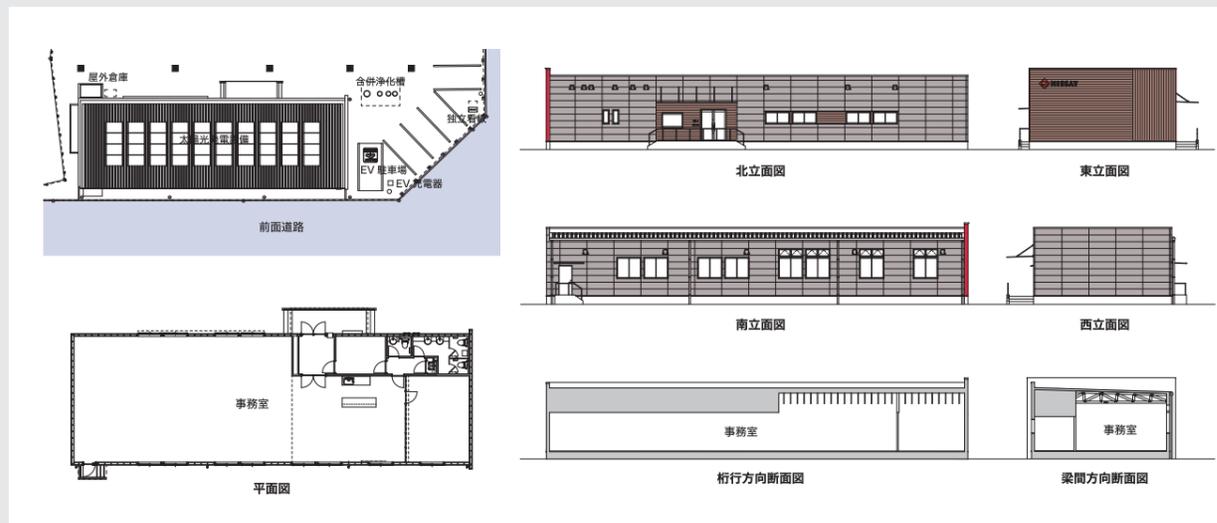
完成年月 2024年 11月

所在地	群馬県富岡市富岡2053-1	新築・改修	新築
建築主	日本生命保険相互会社	用途	事務所
建築面積	263.89㎡	延床面積	259.52㎡
階数	地上1階 地下なし	構造種別	木造
設計者	株式会社 藤木工務店		
施工者	株式会社 藤木工務店 東京支店		

Point (群馬富岡オフィス)



建物配置・平面・立面の事例



木造オフィスへの取組 ~県産材利用による地産地消~

木造建築はCO2削減に貢献するとともに森林保全にも大きな役割を持ちます。富岡オフィスに使用した木材は全体で51㎡で、そのうち84%にあたる43㎡が群馬県産の杉材です。遠方から輸送した木材ではなく、地域の木材を利用することで移動にかかるCO2排出量を抑えることができます。群馬県内では富岡、沼田、館林東の3拠点の木造建築で合わせて197㎡の群馬県産の杉を使用します。



太陽光発電設備 ~創エネ~ (客先工事:群馬富岡オフィス)

屋根の上に太陽光パネルを40枚設置して創エネを行っています。発電した電気は照明機器やパソコンの他にエアコンにも利用できるように通常の動力電源ではなく単相200V仕様の空調機器を設置しています。蓄電池も設置し災害時にも電気が利用できるようになっています。



EV充電設備

電気自動車用の駐車スペースと充電器側に制御回路を内蔵したMode3タイプのスタンド自立型普通充電器を設置しています。



一次エネルギー 計算結果 (群馬富岡オフィス)

	一次エネルギー消費量 (MJ/㎡年)						
	空調	換気	照明	給湯	昇降機	創エネ	合計
設計値	313	10	79	15	—	-649	-232
基準値	880	24	347	7	—	—	1,258
BEI	0.35	0.43	0.22	2.14	—	—	-0.18

※一次エネルギー消費量は四捨五入による整数表記とし、BEIは小数点3位以下を切り上げ表記とする。



BEI 創エネを考慮しない **0.34**  
BEI 創エネを考慮する **-0.18**

設計者の声

■設計者の声(ZEB化で苦労した点)

ZEB化を進める中で、意匠性とのバランスに苦慮しました。一部を天井あらわしとしたことで室内の気積が増え空調負荷が高まりましたが、高性能断熱材や複層ガラス、高効率空調機器、全熱交換器の導入で効率化を図りました。また、LED照明や在室検知制御を採用し、照明エネルギーも抑えています。将来的な太陽光発電の活用も見据え、蓄電池対応の単相200V仕様の空調機を選定しています。



営業拠点建替事業の当社実績 (鉄骨造・木造をあわせた実績)

受注年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025以降
件数	1件	7件	12件	2件	2件	6件	12件	14件 (予定)